

働く魅力を感じてみよう！

白鷹中学校で「WAKU WAKU WORK」を開催

9月22日、白鷹中学校3年生を対象に、地元で活躍する大人たちから地元企業の仕事や働くことの魅力を学ぶ職業体験会「WAKU WAKU WORK」を開催しました。

この企画は昨年より始まったもので、今回で2回目となります。今年は17社の地元企業・団体にご協力をいただき、



生徒たちは興味のある職種のブースを訪れて熱心に話を聞き、実際に体験も行いました。

参加した生徒からは、「知らなかった職種を知れたという新たな発見があったし、興味のあふれる仕事については、より理解を深めることができて良かった」と感想が聞かれ、とても有意義な機会となりました。

収穫の喜びを肌で感じる――
町内各小学校で稲刈り体験

9月下旬から上旬にかけて、町内の小学校で稲刈り体験を行いました。

地域の方々を講師に迎え、春の田植えから丹精込めて育ててきた稲は、立派な穂を付け、児童たちはひとつひとつ丁寧に

刈り取って行きました。

機械での収穫が主流ではありますが、稲刈りの喜びを肌で感じ取ってもらうために、あえて手作業で稲刈りを体験する児童たち。笑顔を浮かべながら楽しんでいました。



収穫に大興奮の児童たち

楽しく聴いて、踊って！

「金田恵子さんのお笑い紙芝居コンサート」を開催

9月6日、白鷹町立図書館を会場に、金田恵子さん（高玉）によるお笑い紙芝居コンサートが開催されました。

金田恵子さんのピアノの演奏で20人の参加者を迎えた後、紙芝居『へこきよめ』、『たべられたやまんば』の読み聞かせが

行われ、金田さんの明るく元気な声に会場が包まれました。

また、「笑いヨガ」、「リズム体操」では、大人も子どもも身振り手振りを交えながら楽しく体を動かし、終始笑いが絶えず、和やかな雰囲気盛り上がりを見せました。



紙芝居の読み聞かせの様子

全国大会出場の栄光をたたえ 白鷹町成績優秀者激励金の交付（8・9月交付分）

文化・スポーツ活動において、優秀な成績を収め全国大会へ出場する方々に、町より激励金を交付しました。
さらなるご活躍をお祈りします。

氏名 (出場時の所属)	大会名等
石田 彩花さん (荒砥高2年)	・第49回文部科学大臣杯全国高等学校囲碁選手権大会
佐藤 日向さん (荒砥高2年)	
青木 七海さん (荒砥高1年)	
吉村 真央さん (荒砥高3年)	
村上 愛海さん (荒砥高2年)	
中村 快生さん (尚志高2年)	・令和7年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会
中嶋 彩七さん (東根小4年)	・ユニクロ全日本ジュニアテニス選手権 2025 ・全日本U10 グリーンボール地域代表チーム戦



(左から) 青木七海さん、佐藤日向さん、石田彩花さん、村上愛海さん、吉村真央さん



中村快生さん



中嶋彩七さん

町のさらなる発展を― 白鷹町議会より町へ政策提言書を提出

8月26日、白鷹町議会（菅原隆男議長）から町政の発展や町民の福祉向上等を目指すため、政策提言書が佐藤町長へと手渡されました。
提言書には、これまで掲げられてきた「安全・安心なまちづくり、地域コミュニティの強化、国道348号の再整備、D
Xの推進、有害鳥獣対策等」に加え、「緊急事故時の対策」や「教育環境の充実」、「コメ政策等への対応」等、喫緊の解決・対応が課題となっている点が盛り込まれました。
今回の提言書をもとに、来年度の各種施策や町予算に反映するよう要望されました。



菅原議長(右)より提言書を受け取る佐藤町長

出身国の自慢の料理づくりで交流を 「世界の料理を作って食べよう!」を開催

9月7日、白鷹町国際交流協会は、十王地区コミュニティセンターで日本語教室「世界の料理をつくって食べよう!」を開催しました。
この教室では、日本語教室に通う外国人の皆さんが、参加者に出身国の料理を振る舞い、交流を深めることで、互いの文化理解と友好を深めることを目的に行われました。
当日はインドネシア、ベトナム、フィリピン、パキスタン、アメリカ出身の皆さんが自慢の料理を作り、和やかな雰囲気の中、お互いの料理を味わいながら交流を深め楽しいひとときを過ごしました。



最後にみんなで記念撮影!